

様式第1号

2020年6月26日

萩生田 光一 文部科学大臣 殿

〔設置者の名称〕 学校法人 京都市育英館

〔代表者の役職〕 理事長 〔代表者の氏名〕 松尾 英孝

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	苫小牧駒澤大学
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	<input checked="" type="radio"/> 大学・短期大学・高等専門学校・専門学校
大学等の所在地	北海道苫小牧市錦西町3丁目2番1号
学長又は校長の氏名	有澤 恒夫
設置者の名称	学校法人 京都市育英館
設置者の主たる事務所の所在地	京都市中京区壬生東高田町1-21
設置者の代表者の氏名	松尾 英孝
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.kyotokango.ac.jp/about/disclosure.php

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第5条第1項に基づき確認申請書を提出します。

更新確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第5条第3項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。

確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。

大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事務局長補佐・村上 歩	0144-61-3120	ay60024@e.t-komazawa.ac.jp
第2号の1	事務局長補佐・村上 歩	0144-61-3120	ay60024@e.t-komazawa.ac.jp
第2号の2	事務局長補佐・村上 歩	0144-61-3120	ay60024@e.t-komazawa.ac.jp
第2号の3	事務局長補佐・村上 歩	0144-61-3120	ay60024@e.t-komazawa.ac.jp
第2号の4	事務局長補佐・村上 歩	0144-61-3120	ay60024@e.t-komazawa.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事(役員)名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	苫小牧駒澤大学
設置者名	学校法人 京都有英館

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	1,434,084,153円	1,555,961,945円	△121,877,792円
申請2年度前の決算	1,570,909,135円	1,647,687,809円	△76,778,674円
申請3年度前の決算	1,239,416,219円	1,004,501,715円	234,914,504円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産－外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	1,323,070,973円	122,898,338円	1,200,172,635円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	300人	128人	43%
前年度	375人	133人	35%
前々年度	450人	155人	34%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
現金預金	現金、銀行預金	195,449,426円
特定資産	第2号基本金引当特定資産、 退職金給与引当特定資産等	1,127,621,547円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
借入金	高等学校耐震工事費用	50,000,000円
未払金	業者への支払、長期リース料	72,898,338円

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	苫小牧駒澤大学
設置者名	学校法人 京都有英館

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単位 数	配 置 困 難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
国際文化学部	キャリア創造学科		8		16	24	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://tku.t-komazawa.ac.jp/publics/index/39/>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	苫小牧駒澤大学
設置者名	学校法人 苫小牧駒澤大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://tku.t-komazawa.ac.jp/publics/index/39/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	市役所職員	2019年11月19日 ～ 2022年11月18日	地域連携への提言 経営計画の策定
非常勤	市議会議員	2019年5月30日 ～ 2021年5月29日	地域連携への提言 経営計画の策定
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	苫小牧駒澤大学
設置者名	学校法人 京都育英館

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目のシラバスでは、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに従った到達目標を明示し、履修者にとって「この講義では何を学ぶことができるのか」を丁寧に説明している。具体的には以下の項目を記載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 到達目標 2 講義内容 3 取得可能な資格 4 授業計画 5 成績評価の方法 6 授業の方法 7 テキスト(参考図書) <p>また、各担当教員によって、シラバスの内容の見直しを行い、学生のニーズに応える講義内容を検討している。さらに、本学全体でより良い教育内容を提供することを目指して、必要に応じ、教務委員会でカリキュラム内容を検討し、見直しを行っている。</p> <p>なお、入学式後のオリエンテーションをはじめ、当該内容の説明が必要と判断される節目において、学生に対し、説明を行っている。(専門ゼミナールの履修登録時、コース選択時等)</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.t-komazawa.ac.jp/syllabus/sy_top.asp
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位認定については、各担当教員が、学則、シラバス等に明示した評価基準に基づき公正に判断した上で、教授会において認定するといった手続きをとっている。また、各教員は講義開始時のオリエンテーションによって、受講生に対して成績評価について説明を行い、十分に理解を得るように努めている。</p> <p>各教員によって、単位認定の条件としてレポートを課すか試験を実施するかは判断されるが、結果を出した後、仮に受講者が(その成績に対して)不服の場合は、申し立てることも可能としている。(自身の成績の根拠等)</p> <p>成績評価の具体的な算出方法は、次の「3」で後述する。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
 成績評価は学則に則り、シラバスに明示した評価方法に基づき 100 点満点で採点・認定しており、成績評価の基準は次のとおりである。なお、既修得科目の認定評価は「認定」と表記している。

1 以下の成績評価の区分に応じて、以下のG Pを付与する。

評価	評点	G P
S	90～100 点	4
A	80～89 点	3
B	70～79 点	2
C	60～69 点	1
F	59 点以下	0

2 GPA の数値は、以下の式で算出する。(小数点第 3 位を四捨五入する。)

$$GPA = \frac{\text{(各科目の単位数} \times \text{その科目で取得した GP)の総和}}{\text{履修登録した科目の総単位数}}$$

客観的な指標の算出方法の公表方法 [『大学生生活ガイドブック』履修の手引き p. 79
 https://tku.t-komazawa.ac.jp/publics/index/39/](https://tku.t-komazawa.ac.jp/publics/index/39/)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学ではディプロマ・ポリシー及び卒業に関する方針を下記の通り定め、公表するとともに、学則等本学規程に即して卒業を認定している。

<ディプロマ・ポリシー>

本学では、「明德・格物致知の実践」を通じて、社会で活躍できる、有為な人材を育成することを教育の目的として、所定の教育課程を修め、以下の能力を身につけた者に学士の学位を授与する。

- 1 文章を正しく読み、書き、自分の考えを論理的に表現できる力
- 2 基本的な英語の読み、書き、英語で自分の意思を伝えることのできる力
- 3 広い視点から情報を判断、分析し、分かりやすく情報を発信する力
- 4 幅広く豊かな教養をそなえ、多様な文化、価値観を理解する力
- 5 社会におけるさまざまな問題を見つけ、主体的に問題解決に取り組む力

卒業の認定に関する方針の公表方法 <https://tku.t-komazawa.ac.jp/publics/index/27/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	苫小牧駒澤大学
設置者名	学校法人 京都市英館

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kyotokango.ac.jp/about/disclosure.php
収支計算書又は損益計算書	https://www.kyotokango.ac.jp/about/disclosure.php
財産目録	https://www.kyotokango.ac.jp/about/disclosure.php
事業報告書	https://www.kyotokango.ac.jp/about/disclosure.php
監事による監査報告(書)	https://www.kyotokango.ac.jp/about/disclosure.php

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <https://tku.t-komazawa.ac.jp/publics/index/39/>

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 国際文化学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://tku.t-komazawa.ac.jp/publics/index/27/)
(概要) <教育目標> 建学の理念である「明德・格物致知」について、本学は、「人は、物事の道理や本質を深く理解して知識や学問を深めることにより、自らが持つ天から与えられた優れた徳性を明らかにすることができ、人は、この自らの特性を悟ったとき、おのずと自ら及び他者に対して正しく公明な愛を向けることができる」ことと解釈している。 学生に対し、多くの知識とかけがえのない経験を授けることにより、自身を磨き、更なる高みへと到達させ、世界中で貢献できる人材を育成することを目指している。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://tku.t-komazawa.ac.jp/publics/index/27/)
(概要) <ディプロマ・ポリシー> 本学では、「明德・格物致知の実践」を通じて、社会で活躍できる、有為な人材を育成することを教育の目的として、所定の教育課程を修め、以下の能力を身につけた者に学士の学位を授与する。 1 文章を正しく読み、書き、自分の考えを論理的に表現できる力 2 基本的な英語の読み、書き、英語で自分の意思を伝えることのできる力 3 広い視点から情報を判断、分析し、分かりやすく情報を発信する力 4 幅広く豊かな教養をそなえ、多様な文化、価値観を理解する力 5 社会におけるさまざまな問題を見つけ、主体的に問題解決に取り組む力
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://tku.t-komazawa.ac.jp/publics/index/27/)
(概要) <カリキュラム・ポリシー> ○ キャリア創造学科 学位授与の方針に掲げた人材を育成するため、「一般教育科目」「専門科目」「演習科目」「実習科目」「関連科目」を配置し、教育を行う。「専門科目」には、多様な文化を理解するための「異文化教育科目群」、人生を決定する職業選択（キャリア形成）に必要な知識と基本的なビジネススキルを養成するための「キャリア教育科目群」を配置する。 ■ 一般教育科目 1年次に配置される必修科目「大学で学ぶために1」「大学で学ぶために2」「キャリアデザイン入門」「キャリアデザイン基礎」では、学習習慣を確立し、大学での学修方法、レポートの書き方、文章表現力を学ぶ。また、現代社会と自分の将来を見つめ、自己を実現するための社会人基礎力、コミュニケーション力を身につける。主として社会・人文分野における幅広い教養を身につけ、社会人として要求される一般的知識を身につけるとともに、専門的知識を身につけるための基盤を作る。 ■ 専門科目 1年次秋 Semester から配置される「異文化教育科目群」では、多様な文化の理解を深めつつ幅広い教養を身につけ、多角的な視点をもってさまざまな分野で要求される知識を

身につける。

2年次春Semesterから3年次秋Semesterにかけて配置される「キャリア教育科目群」は、キャリア理論、就職支援科目を配置し、実践的なビジネススキルなど社会で要求される基本的なことを学ぶ。

主として2年次春Semesterから配置される「経済・情報関連科目」「英語関連科目」「北海道・アイヌ文化関連科目」「仏教・禅関連科目」「法律関連科目」では、社会において要求される幅広い知識と技能を修得する。

■ 演習科目

2年次春Semesterから3年次秋Semesterにかけて段階的に配置される「専門ゼミナール1～4」は、少人数の指導の下、各分野における方法論を学び、専門性を深めるのみならず、自立した社会人として期待される能力を養成する。

■ 実習科目

1年次春Semesterから配置される「伝統文化」「坐禅」などの科目に加え、他者との協働性や社会参画のための態度を養うための「インターンシップ」「まちなかにぎわい実習」「ボランティア活動」「フィールドワーク」などの科目も配置している。

■ 関連科目

主として2年次春Semesterから配置される「関連科目」は、学生の就職支援として、各種検定試験の準備を行うための科目である。TOEIC、英語検定、ITパスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験、簿記検定、日本語能力試験など、資格取得の支援を行う。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://tku.t-komazawa.ac.jp/publics/index/27/>)

(概要)

<アドミッション・ポリシー>

本学では、この教育目標を実現させるために、基礎的な学力をもち、豊かな教養を身につけるための努力ができる人を求めている。具体的には、

- 1 高校時代の経験でつちかした力をいかしたい人
- 2 地域社会で多様な人々と協力しあい、自分自身と地域・社会の未来を創り出す意欲を持っている人
- 3 地域の文化や経済、産業、国際社会に関する様々な状況に興味・関心をもっている人
- 4 広い視野で解決が必要な問題を発見し、自ら解決できるような知識と技能を修得したいと考えている人
- 5 これらの知識と技能を多くの人たちとのかかわりによる経験と実践で身につけ、その力を社会で発揮したい人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://tku.t-komazawa.ac.jp/publics/index/47/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
国際文化学部	—	9人	1人	4人	0人	0人	14人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
1人			17人				18人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://tku.t-komazawa.ac.jp/publics/index/51/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
国際文化学部	75人	44人	59%	300人	128人	43%	10人	2人
合計	75人	44人	59%	300人	128人	43%	10人	2人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
国際文化学部	47人 (100%)	2人 (4%)	40人 (85%)	5人 (11%)
合計	47人 (100%)	2人 (4%)	40人 (85%)	5人 (11%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>各授業科目のシラバスでは、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに従った到達目標を明示し、履修者にとって「この講義では何を学ぶことができるのか」を丁寧に説明している。具体的には以下の項目を記載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 到達目標 2 講義内容 3 取得可能な資格 4 授業計画 5 成績評価の方法 6 授業の方法 7 テキスト（参考図書） <p>また、各担当教員によって、シラバスの内容の見直しを行い、学生のニーズに応える講義内容を検討している。さらに、本学全体でより良い教育内容を提供することを目指して、必要に応じ、教務委員会でカリキュラム内容を検討し、見直しを行っている。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<ディプロマ・ポリシー>				
<p>本学では、「明德・格物致知の実践」を通じて、社会で活躍できる、有為な人材を育成することを教育の目的として、所定の教育課程を修め、以下の能力を身につけた者に学士の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 文章を正しく読み、書き、自分の考えを論理的に表現できる力 2 基本的な英語の読み、書き、英語で自分の意思を伝えることのできる力 3 広い視点から情報を判断、分析し、分かりやすく情報を発信する力 4 幅広く豊かな教養をそなえ、多様な文化、価値観を理解する力 5 社会におけるさまざまな問題を見つけ、主体的に問題解決に取り組む力 				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
国際文化学部	キャリア創造学科	124 単位	有	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://tku.t-komazawa.ac.jp/publics/index/32/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
国際文化学部	キャリア創造学科	680,000円	200,000円	250,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>1 学修支援</p> <p>本学では、それぞれの学生に対して個々に相談等による担任制を採用している。また、各教員がオフィスアワーを設定し、履修上の相談、卒業に必要な単位修得のためのナビゲーション等、学生一人ひとりに対するきめ細かい個別指導を実施している。</p> <p>2 経済支援 (授業料全額又は半額免除)</p> <p>ア 特待生奨学生 イ スポーツ文化奨学生 ウ 学業奨学生</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>本学では、学生サポートセンター内に相談窓口を設置し、学生がいつでも進路選択を相談できるような環境づくりを行っている。学生支援の就職担当が学年担当教員やゼミ担当教員と連携し、学生一人ひとりの就職活動について、心構え、面接手法等、丁寧にサポートしている。</p> <p>また、市内の企業と強いパイプを有する職員 (元苫小牧市役所幹部職員) を配置しており、必要に応じて市内企業への就職の紹介を行っている。</p> <p>また、本学は「キャリア教育」に力を入れており、法学や経営学、マーケティング論といったビジネスの基礎となる分野の教育を展開している上、簿記や IT パスポート、TOEIC といった資格取得も奨励している。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>本学では、学生サポートセンターにおいて、学業相談に限らず、友人関係等の相談を含め、学生生活の様々な場面で支援を行っている。</p> <p>また、毎年、全学生を対象とした定期健康診断を実施し、学生の身体面でのサポートに努めている。</p> <p>さらに、学生相談室を設置し、精神保健福祉士をカウンセラーとして配置している。月 2 回程度、当該相談室は開室されているほか、学生が自らメールにてカウンセラーに相談することも可能としている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://tku.t-komazawa.ac.jp/publics/index/51/>